

平成 30 年度
学校関係者評価結果報告

専門学校久留米自動車工科大学校

1. 学校関係者評価の目的

専門学校久留米自動車工科大学校における学校関係者評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校等、保護者、地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員の構成

学校関係者評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・実務に関する知識・技術・技能について知見のある企業職員 1名
- ・業界団体役員 1名
- ・卒業生 1名
- ・保護者代表 1名

3. 学校関係者評価の実施方法

平成31年4月10日（水）

専門学校久留米自動車工科大学校 会議室にて実施

学校関係者評価委員には自己点検評価書類を配布、学校側から自己点検に関する概要及び評価結果を説明。教職員との意見交換を通して得られた意見等をまとめる事とした。

4. 各項目における学校関係者評価

*評価表記： 4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

◆学校関係者評価委員コメント

30年度の自己点検評価に対して評価委員より下記の質問・意見等を頂いた。

(全体に関わる事項)

Q 評価項目ごとに、4段階評価がなされているが、当該評価に関する基準はあるのか。

A 客観的な評価基準はなく、学校内の自己点検評価委員による審議に基づき、自己点検を行っている。

Q 自己点検評価委員による、審議状況に関する記録は残されているか。

A 記録を残していないので、今後はその経過がわかるよう記録を残したい。

(学生支援に関する事項)

Q 女子学生に対する奨学金について、課題とされているが、奨学金は毎年支給されるのか、

また、男子学生からの意見はあるのか。

A 女子学生は、毎年度、後期授業料を免除する。男子学生から、女子学生に比較して少ない旨を課題にする意見もある。しかし、現在の女子学生からの資料請求の増加状況等をみると、これらの取組みの効果があるのではないかと推測できる。

女子学生に対する奨学金は、良いと思う。就職にあたっては、女性の整備士を要望されているところもある。また、女性の学生が増加していることは、費用が一定であることを考えると、コストパフォーマンスも良いと考える。

(教育活動に関する事項)

Q 教師の人材確保が、課題されているが、学校のホームページ上の人材募集の取組みは、より積極的に訴求するほうが良いと考える。

A 教員募集については、重要性は認識しているが、募集に際しての制約もあることから、現在のホームページ上の求人広告としている。

Q 制約については、認識しているが、それを踏まえても、一緒に人材育成に取り組む情熱的な部分を訴求することが必要ではないか。

A 委員の意見も踏まえて、今後の人材確保に活かしていく。

(1) 教育理念・目標

【項目総括】 3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）特にディプロマポリシーにもとづく、本校が求める人材育成のため、教育の質の保証を目標とすること。 職業実践専門課程認可校として、高い実践的教育が教授できる職業専門校であること。 以上のことを、他校との差別化項目として、ホームページ等の電子情報媒体にて周知することが必要である。 また、本校が欲する人材像は、募集要項等にアドミッションポリシーを記載することなどで対応されたい。		
【特記事項】 特になし		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4（適切）	4（適切）
学校おける職業教育の特色は持っているか	4（適切）	4（適切）
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4（適切）	4（適切）

学校の教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生保護者等に周知されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
学科やコースの教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 (適切)	4 (適切)

(2) 学校運営

<p>【項目総括】 本校の運営は、6か年分の中期計画である実施計画、その実施計画書に定めた目標達成のために、当該年度の計画書である事業計画書を作成している。 当該年度の予算作成は、事業計画に基づいて、算出され、適正に実行されている。 意思決定機能は、校長を中心とし、経営改善委員会や管理職会議、かつ法人本部と連携し、適切に実施されている。 組織のスリム化を進めるために、業務内容の精査と、担当者配分を再考することがもとめられる。事務室内の業務の平準化が求められる。</p>		
<p>【特記事項】 特になし</p>		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 (適切)	4 (適切)
運営組織や意思決定機能は、規程等において明確化されているか	4 (適切)	4 (適切)
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	4 (適切)	4 (適切)
人事等に関する規定等は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
教育活動等に関する情報公開が適正になされているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
システム化等により業務効率化が図られているか	2 (やや不適切)	2 (やや不適切)

(3) 教育活動

<p>【項目総括】 教育理念に沿った教育課程編成は、シラバスにより、体系化されている。 実践的職業教育の視点にたったカリキュラム変更では、教育課程編成委員会と協議しながら年次毎の改善が見て取れる。 先進的な知識・技術の習得のために、当該年度も複数人の教師が、各種研修に参加している。 事務員の能力向上に係る研修は、主に OJT で実行しているため、個々の能力にバラツキがあることが課題である。 教員募集の求人広告に関する取組みとマネジメントが不十分である。</p>
--

【特記事項】 特になし		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (適切)	4 (適切)
教育理念、育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	4 (適切)	4 (適切)
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (適切)	4 (適切)
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	4 (適切)	4 (適切)
関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	4 (適切)	4 (適切)
関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4 (適切)	4 (適切)
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (適切)	4 (適切)
成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	4 (適切)	4 (適切)
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4 (適切)	4 (適切)
人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4 (適切)	4 (適切)
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取組みがなされているか	4 (適切)	4 (適切)
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (適切)	4 (適切)

(4) 学習成果

<p>【項目総括】</p> <p>就職率に関しては、継続的に就職希望者の内定 100%が維持されている。</p> <p>資格取得率については、ほぼ目標値に達しているが、一級自動車工学科において、問題の難易度の差からか、年度毎に合格率に差が出ている。</p> <p>当該年度に限れば、卒業生全員が合格しており、本校の教育の質の高さが証明された。</p> <p>退学率の低減については、徐々にではあるが、平成 27 年度から低減されている。</p>
--

例年継続して行っている、地道な生徒指導の結果と考えられる。 卒業生等の社会的な活躍や評価把握が出来ていないことが継続的課題である。		
【特記事項】 特になし		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
就職率の向上が図られているか	4 (適切)	4 (適切)
資格取得率の向上が図られているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
退学率の低減が図られているか	4 (適切)	4 (適切)
卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(5) 学生支援

【項目総括】 進路相談、学生相談に係る対応は、教員全体での細かな対応がなされている。 女子学生への対応は、教員と女性事務員による二重体制で対応している。 従前からの課題である、学生の健康管理を担う体制はいまだ不十分である。 当該年度から心的問題の解決策として、臨床心理士によるカウンセリングが開始された。 学生の経済的支援は、数種類の奨学制度があるが、経済的問題で、修学不能になるような事案に対応するような、奨学金体制は整えていないことは課題のひとつである。		
【特記事項】 特になし		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
進路に関する支援体制は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
学生相談に関する体制は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
保護者と適切に連絡しているか	4 (適切)	4 (適切)
卒業生への支援体制はあるか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	4 (適切)	4 (適切)

(6) 教育環境

【項目総括】 老朽化した実習車両の更新、車体整備工学科で使用する水性塗料装置の導入、一級自動車工学科で使用する最新の振動分析器の導入し、必要にして、十分な設備が整っている。 継続課題である、老朽化した建物の取扱いを含めた、実現可能な、施設設備計画の見直しが必要である。 消防計画は、毎年更新している。防災対応マニュアルも作成済みではあるが、防災訓練ができていないのが課題である。 学生は、避難経路等の知識がないため、実際の訓練を通して、認識を高める必要がある。		
【特記事項】 特になし		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対抗できるように整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4 (適切)	4 (適切)
防災に対する体制は整備されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(7) 学生募集

【項目総括】 潤沢といえない予算のなかで、オープンキャンパス、ガイダンス参加、高校訪問、SNS 活用など、学生募集活動は適切に実施されている。 ただ、昨今の急激な自動車分野への進学率低下を考慮すると、留学生なしに新入生数 84 名を獲得できたことは、評価に値するものである。 収支安定のためには、収入を上げるしかないため、止む無く、校納金を値上げしているが、他校と比較しても、本校の学納金は安価であり、適切な価格であると言える。 広報活動は、時代の変遷に対応すべきであることから、従来の広報施策からの脱却が必要である。 電子媒体を中心としたうえで、豊富な情報提供と接触者への対応を重視した、効率化した広報戦略に変化させることが必要である。		
【特記事項】 特になし		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4 (適切)	4 (適切)
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられて	4 (適切)	4 (適切)

いるか		
校納金は妥当なものとなっているか	4 (適切)	4 (適切)

(8) 財務

<p>【項目総括】 財政基盤は、10年以上、支出超過であるが、債務を抱えておらず、今のところ、学校運営に支障は出ていない。 しかし、単年度の収支安定のためには、何より収入の確保が大前提である。 自動車離れ、大学志向の増加、就職率の大幅な伸びなど、専門学校にとっては、逆風ばかりではあるが、そのうえで、入学者数を増やし、収入を確保しなければならない。 そのためには、教育の質を上げ、カリキュラムの改善、目標とする人材育成の確立を早急に実現する必要がある。 監査については、学内監事による期中・期末監査の他、新年度の予算案作成時には法人本部による予算ヒアリングが実施されるなど適正化が図られている。 財務情報についても法人ホームページにおいて、決算・監事監査報告を公開するなど明確化がなされている。</p>		
<p>【特記事項】 入学者増加による収入増加で収支バランスを整える。</p>		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	2 (やや不適切)	2 (やや不適切)
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (適切)	4 (適切)
財務について会計監査が適切に行われているか	4 (適切)	4 (適切)
財務情報公開の体制整備はできているか	4 (適切)	4 (適切)

(9) 法令遵守

<p>【項目総括】 法令、設置基準については、学校法人規程および学則において、適正な学校運営が行われている。 個人情報管理も外部の専門業者による、年間監視システムを導入している。 学校法人全体で情報セキュリティ規程も定めている。 自己点検評価後の改善方策が詳細ではないので、再考する必要がある。 学校関係者評価は、HP上にて公開しているため問題はない。</p>		
--	--	--

【特記事項】 特になし		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4（適切）	4（適切）
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4（適切）	4（適切）
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4（適切）	4（適切）
自己評価結果を公開しているか	4（適切）	4（適切）